

令和5年度 コンピテンシー(学修到達目標)に
関する自己評価アンケート調査結果報告書
(看護学科)(抜粋)

令和6年3月

浜松医科大学 IR 室 (教学部門)

調査概要

1. 調査の目的

令和5年度（2023年度）看護学科4年生を対象に、コンピテンシー（学修到達目標）における自己評価アンケートを得て、教育プログラムにおける問題点や改善点を把握する。

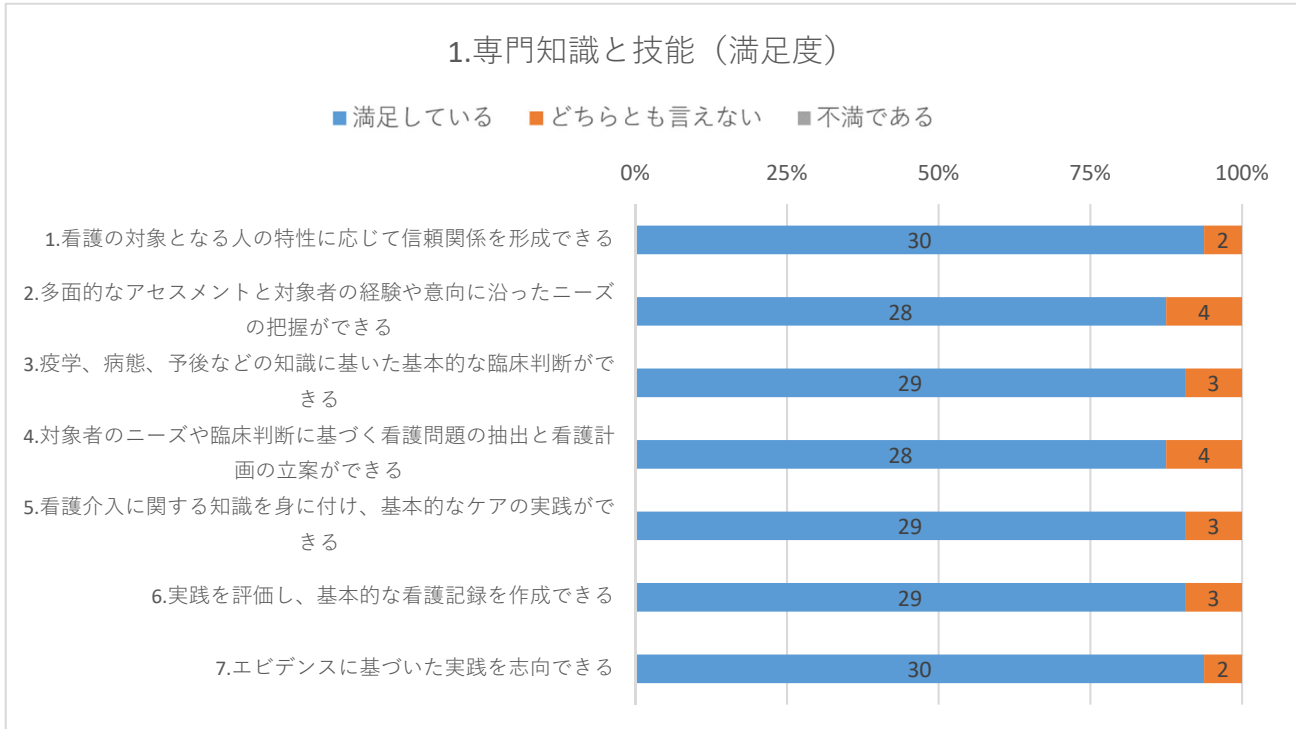
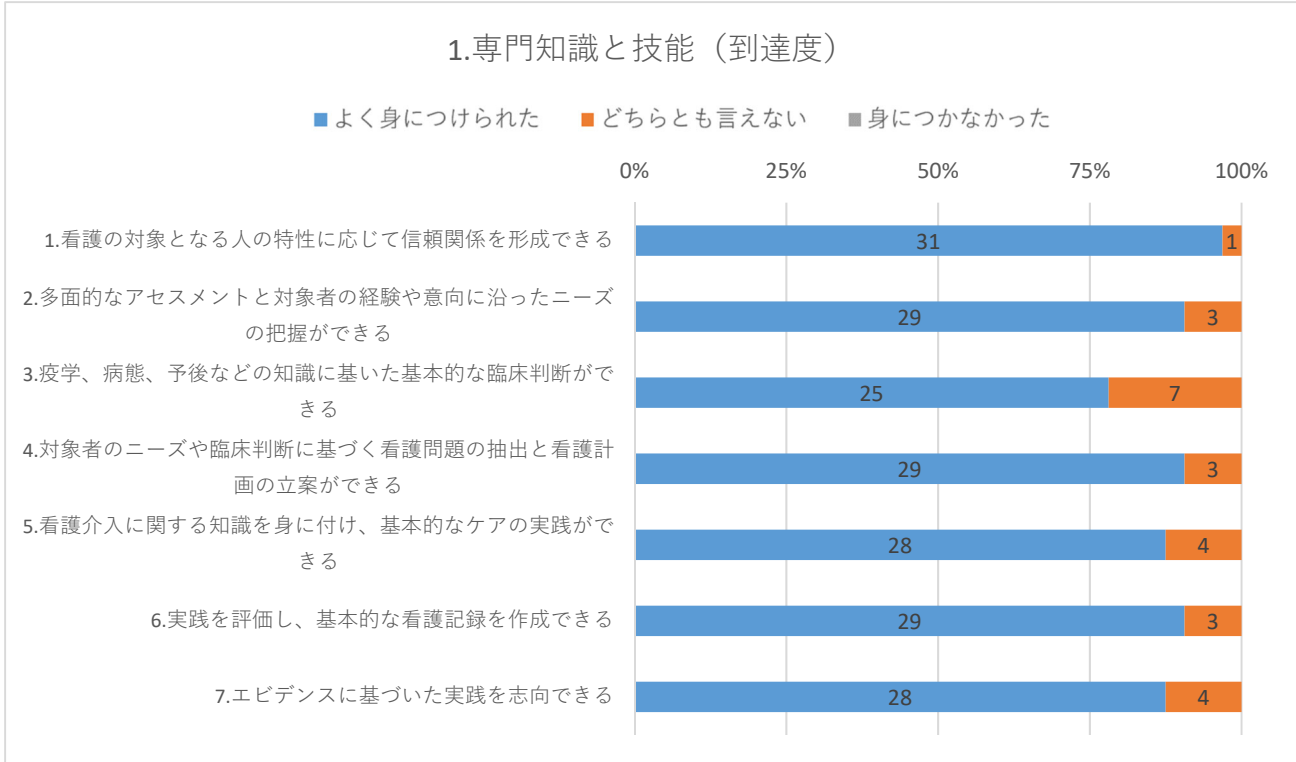
2. アンケート実施方法等の概要

- 調査対象 令和5年度（2023年度）看護学科4年生 60名
- 調査方法 対象者にメールで通知し、Webフォームから回答を回収
- 調査期間 令和6（2024）年2月13日～2月29日
- 回答数 32件（回収率 53.3%）
- 有効回答数 32件（有効回答率 53.3%）

ディプロマ・ポリシーごとの集計結果

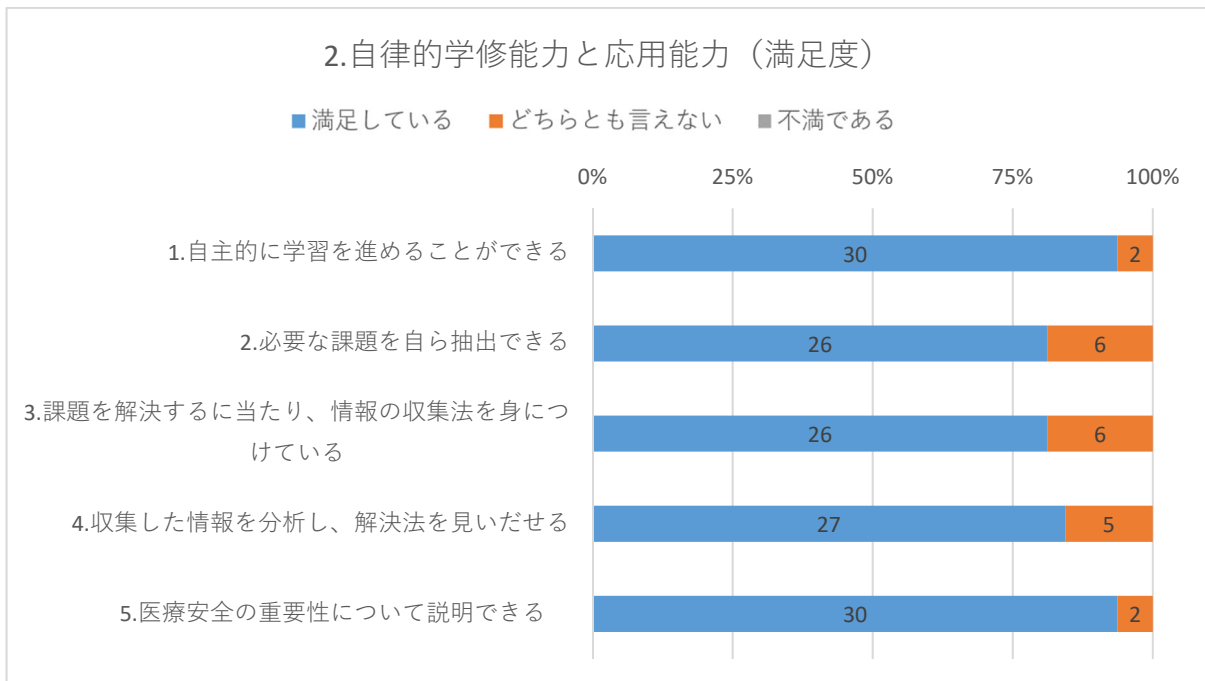
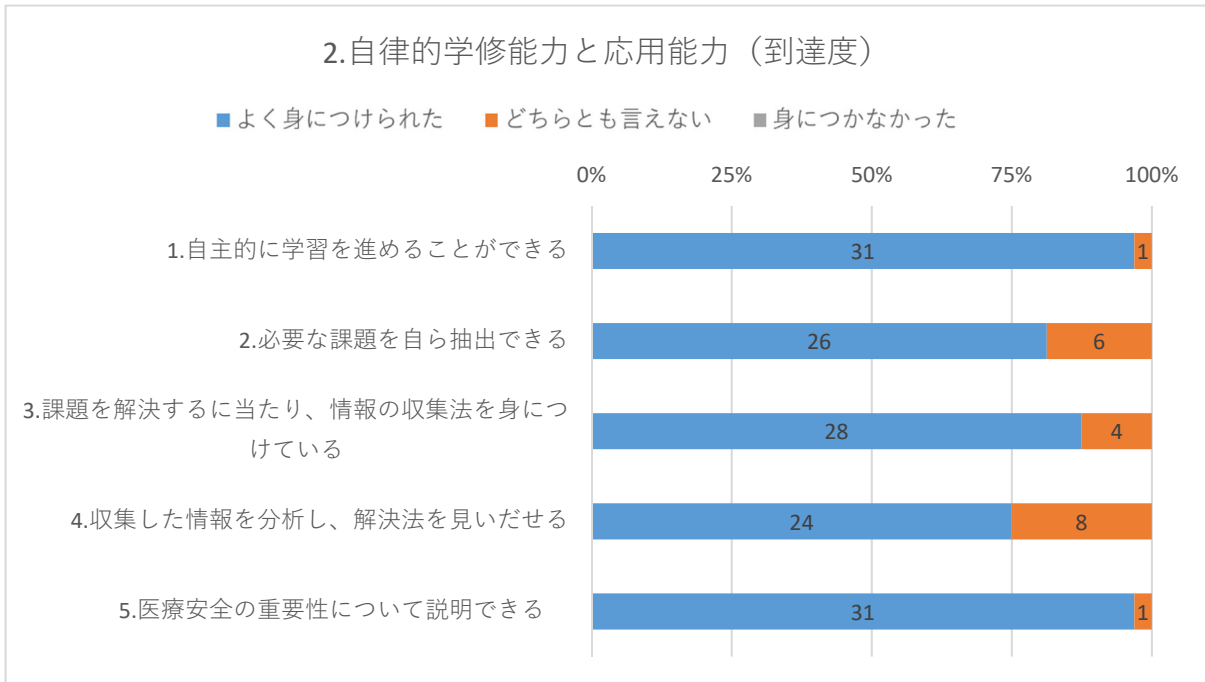
1. 専門知識と技能

いずれのコンピテンシーにおいても、到達度、満足度ともに概ね高い数値が示されたと考えられる。



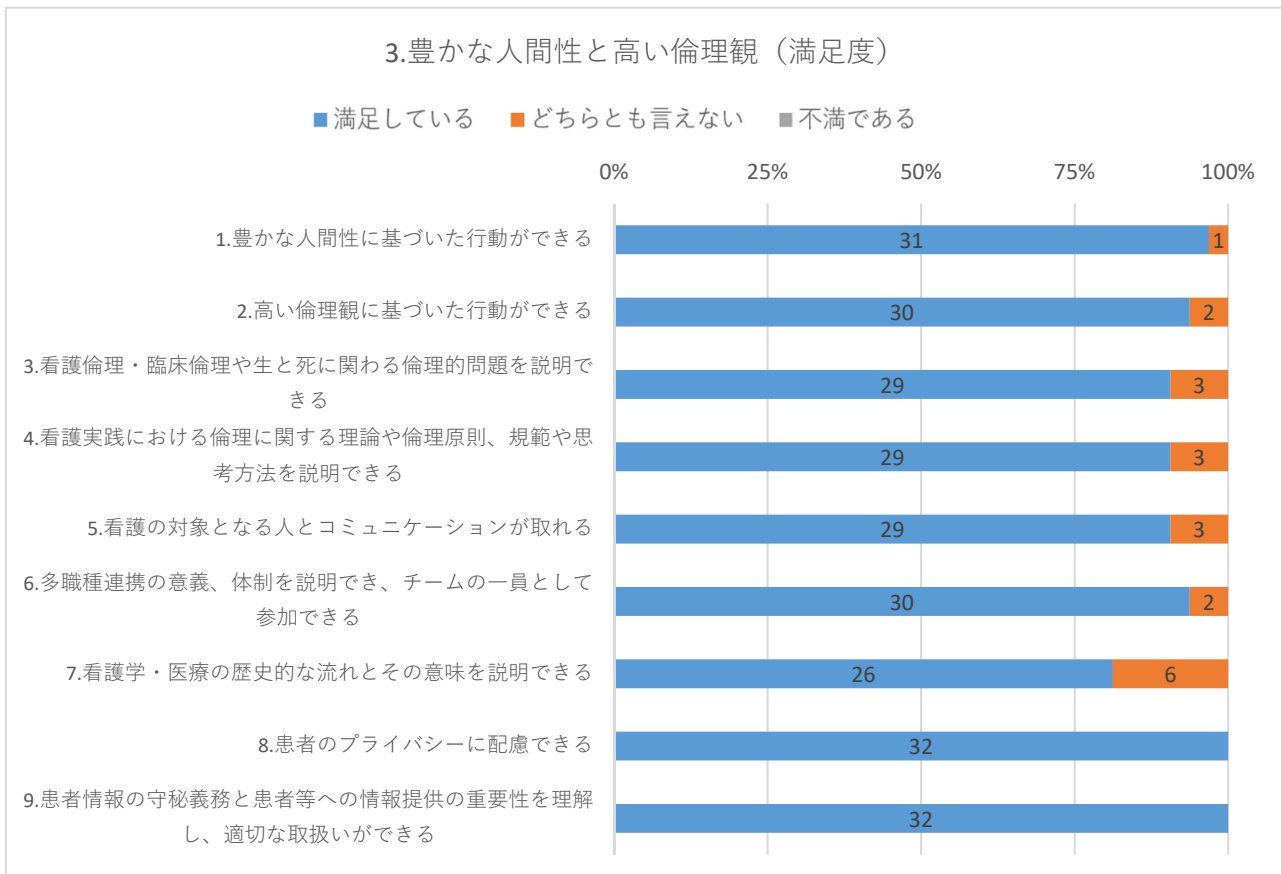
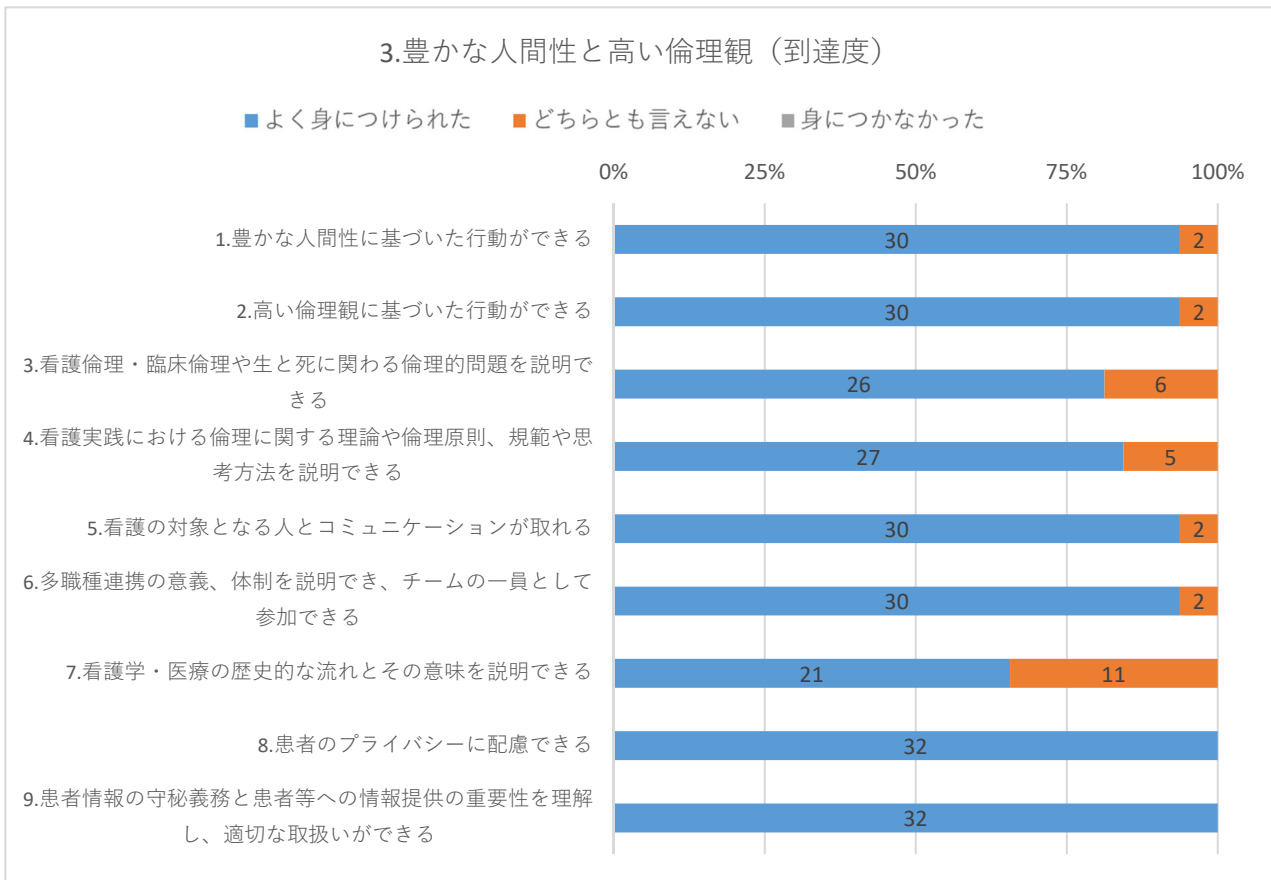
2. 自律的学修能力と応用能力

いずれのコンピテンシーにおいても、到達度、満足度ともに概ね高い数値が示されたと考えられる。



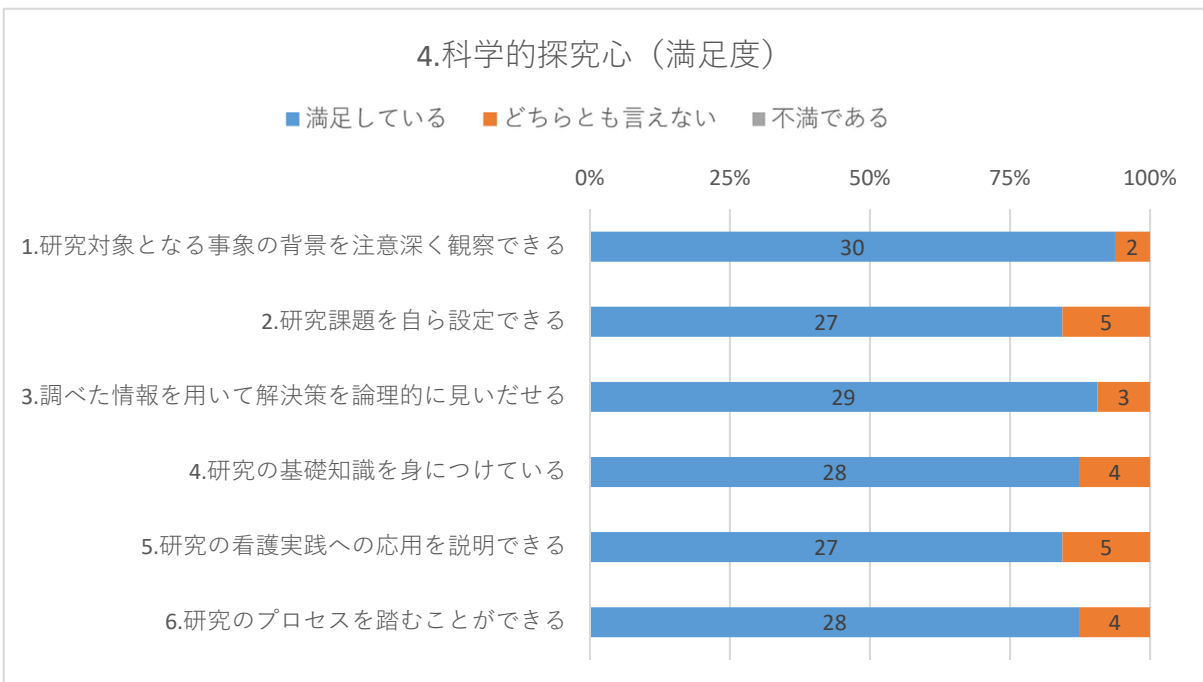
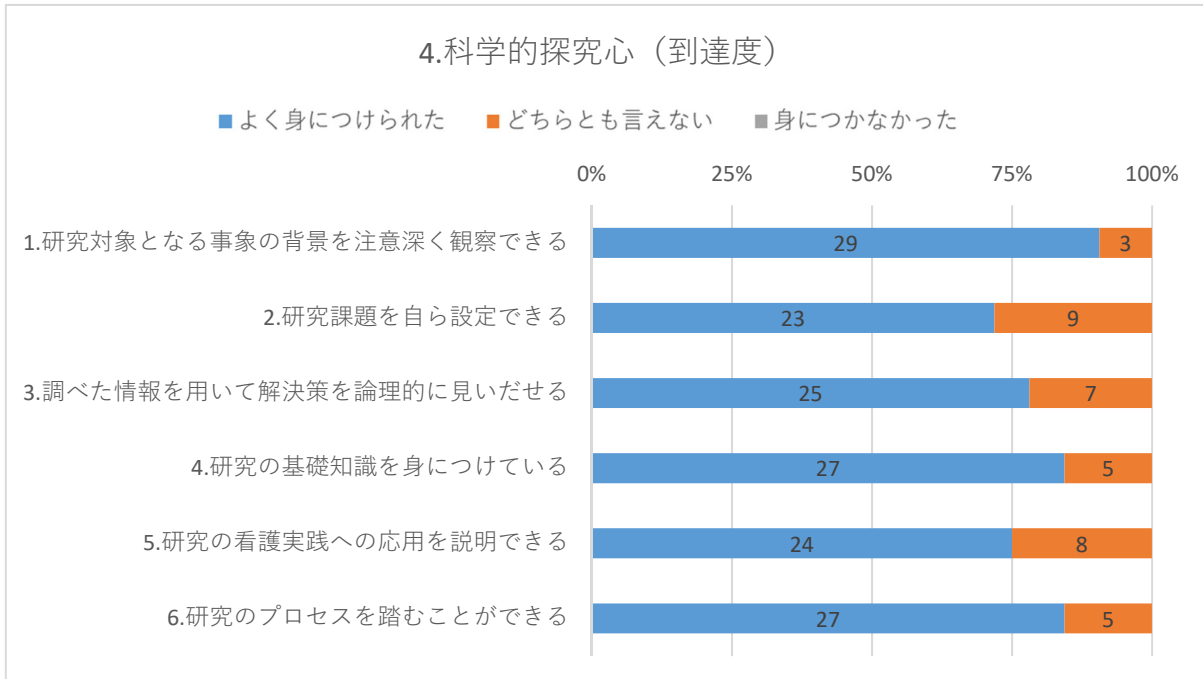
3. 豊かな人間性と高い倫理観

「7.看護学・医療の歴史的な流れとその意味を説明できる」の到達度を除き、いずれのコンピテンシーにおいても、到達度、満足度ともに概ね高い数値が示されたと考えられる。



4. 科学的探究心

他のディプロマ・ポリシーに比較して、到達度における「よく身につけられた」の回答の割合が低い。



5. 社会貢献力

「4. 国際社会に貢献するための語学力を身につけている」を除き、いずれのコンピテンシーにおいても到達度、満足度ともに概ね高い数値が示されていると考えられる。

